

1. 演習名：比較社会学演習
2. 担当者：佐藤量
3. 開講日・曜日・時限：前期金曜・4限、後期木曜・2限
4. 演習内容：

この演習では、「戦争記憶の比較社会学」をテーマとして、日本各地に残る戦争記憶を比較することで、地域社会の視点から戦争の歴史と記憶を考えます。歴史教科書で学ぶナショナルヒストリーとしての戦争言説とは異なり、地域ごとの戦争記憶や家族と戦争をめぐるファミリーヒストリーなど、より地域的で個別的な視点から戦争を捉えることを目指します。

戦争体験者から話を聞くことがますます困難にある現在、戦争を体験していない世代が次世代に語り継ぐフェーズに至っています。加えて、パレスチナやウクライナをはじめとして現代社会においても紛争は絶えません。戦争記憶と歴史認識への冷静な洞察力を養うことは現代的な重要課題です。

演習の方法としては、基礎的文献を分担して講読し、その後、関連する自身の研究内容について報告・ディスカッションします。

5. 評価方法：授業への参加の度合いと期末レポート
6. 履修上の注意事項：

演習で購読する文献を事前に読み、準備をして演習に臨み、授業中は積極的に発言することが望まれます。研究テーマをある程度考えていること。

7. 担当教員の紹介

専門領域は、歴史社会学、移民研究、満洲研究、オーラル・ヒストリー研究です。特に満洲に移住し、戦後帰還した引揚者への聞き取り調査を続け、戦後の生活再建や地域定着について考えてきました。中国（大連市）や日本各地（京都、水俣、奄美、飯田など）でフィールドワークを行っています。今後は広島でも調査を進める予定です。

主要著書は、佐藤量・菅野智博・湯川真樹江編『戦後日本の満洲記憶』（東方書店、2020年）／佐藤量『戦後日本社会と同窓会』（彩流社、2016年）など。

